2013年5月25日

西川、北川

覚王山から本山・四谷通経由 名古屋大学へ歩こう

覚王山・日泰寺周辺と青春時代の思い出の地、本山・四谷通・名古屋大学周辺を歩いてみよう。

地下鉄東山線覚王山駅（①番出口）から日泰寺参道を通り日泰寺へ、揚輝荘へと歩きます。日泰寺参道をもどり、末森通りを城山八幡宮（末森城址）へ、本山から四谷通へ。桃巖寺を経由して名古屋大学へと青春時代の思い出の通りを歩きます。なお、当日は名大祭が開催されています。

1、開催月日 2013年6月8日（土）

2、集合場所・時間 （北川の携帯：090-6462-2862）

地下鉄 東山線覚王山駅改札（1番出口）を出たところ、13時30分

地下鉄名古屋駅から、12分くらいです。

地下鉄千種駅から、4分くらいです。

3、スケジュール（すべて徒歩です、名古屋大学に15時30分頃までに到着の予定です。）

地下鉄覚王山駅 ⇒ 日泰寺参道経由、日泰寺 ⇒ 揚輝荘 ⇒ 日泰寺参道

13:30分出発 参拝 入場（14:05頃発）

⇒ 末森城址・城山八幡宮（連理木） ⇒ 本山経由 ⇒ 桃巖寺・名古屋大仏 ⇒

（14:25～14:45頃） （15:05～15:15頃）

名古屋大学 当日は名大祭が開催されています。

名古屋大学博物館に入場される場合は15時30分までに入場、16時閉館です。

4、主な見どころ

日泰寺： お釈迦様の遺骨を安置。日本で唯一の超宗派の寺院で、仏教各派が交代で住職を務めています。毎月21日には弘法様の縁日が開かれています。1904（明治37）年に日暹寺（につせんじ、昭和16年より日泰寺）が創建された。

揚輝荘： ㈱松坂屋の初代社長伊藤次郎左衛門祐民の別邸。かつては、各界の要人や文化人が往来する迎賓館、社交場として華やいていました。平成19年に、名古屋市に寄贈され、建物は貴重な建築遺産として、庭園は都会のオアシスとして、市によって保存・公開されています。北園の公開時間 9:30～16:30 入場無料

末森城址（城山八幡宮）： 現在、城山八幡宮のある場所は、もともと末森城だったところ。末森城は1548（天文17）年、織田信長の父・信秀が今川氏に対する備えとして築いた。信秀の死後は弟の信行が城主となったが、1558（永禄元）年に信行が信長に殺されて以降は正確な記録がない。

桃巖寺： 織田信秀の菩提寺として、末森城主 信行が建立。境内には、信秀・信行・柴田勝家の墓があり、名古屋大仏も有名。

名古屋大学博物館（古川記念館）： 大学の研究成果を展示・公開。約110万点の資料を収蔵。特別展や企画展などを数回開催。屋根から差し込む光が印象的な建物は、貴重な近代建築遺産である。開館時間 10:00～16:00